

先生各位

新規検査項目のご案内

謹啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素はひとかたならぬお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。

さて、このたび新たに下記項目の受託を開始することになりましたのでご案内申し上げます。
今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

《受託開始日》 平成 27 年 4 月 13 日(月) 受付分より

《検査要項》

検査項目名称	M2BPGi (Mac2 結合蛋白糖鎖修飾異性体)
検査コード	9760 (9760: 判定値 / 9761: カットオフインデックス)
JLAC10	5C141 - 0000 - 023 - 052-11
診療行為コード	160204950
検体量 / 保存・容器	血清 0.4 mL / 冷蔵・A1 A2
実施料 (判断料)	200 点 (生化)
所要日数	2 ~ 5 日
検査方法	CLEIA 法
基準値	1.00 未満 ()
判定基準	判定 カットオフインデックス (-): 1.00 未満 (1 +): 1.00 ~ 3.00 未満 (2 +): 3.00 以上

保険収載名称: Mac-2 結合蛋白 (M2BP) 糖鎖修飾異性体

保 険 注 釈: ア Mac-2 結合蛋白 (M2BP) 糖鎖修飾異性体は、肝硬度測定の前所定点数に準じて算定する。なお、判断料については生化学的検査 () 判断料を算定する。

イ 本検査は、2ステップサンドイッチ法を用いた化学発光酵素免疫測定法により、慢性肝炎又は肝硬変の患者 (疑われる患者を含む。) に対して、肝臓の線維化進展の診断補助を目的に実施した場合に算定する。

ウ 本検査とプロコラーゲン-β-ペプチド (P-β-P) 若しくは Ⅲ型コラーゲン、Ⅳ型コラーゲン・7S、ヒアルロン酸又はプロリルヒドロキシラーゼ (PH) を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。

《解 説》

肝臓は肝炎ウイルスやアルコール、薬剤性、遺伝性、自己免疫性要因により肝炎を発症します。さらに近年メタボリックシンドロームや糖尿病に関連する非アルコール性の脂肪肝炎が増加しています。肝炎は急性から慢性化し、肝細胞の破壊を引き起こし、線維化が進行します。この線維化が進行すると肝硬変になり、2~30%は肝癌へと移行し、死に至ることが知られています。肝炎の進行度を正しく診断し、癌化を防止するためにも肝臓の線維化の程度を測定する検査が必要になっています。

M2BPGi は平成 27 年 1 月に新しく保険適用された肝線維化マーカーであり、線維化ステージの上昇の程度に伴い有意に高値になります。また、肝生検とも良好な一致率を示すことから、既存の肝線維化マーカーよりも優れた診断能を有していることが報告されています。